



発行所
〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884)73-0743番
FAX (0884)73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 (株)教育出版センター

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。

暑中お見舞い申し上げます



猛者の功
皆様の健康を
心より祈ります
A 曾

平成二十八年盛夏
鯖大師本坊 柳本明善



横峰寺への道

松山市 伊藤一春氏撮影

人んく道力十言葉
思かて良いただ歩は仙も微笑む
生真通路

鯖大師ホームページ
URL
<http://www.sabadaishihonbou.jp>
*ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

四国遍路

衛門三郎修行

今年には四年に一度の閏年、四国霊場では遍路の開祖と言われる衛門三郎の故事に由り、四国八十八ヶ所霊場を第八十八番・大窪寺より、第一番・霊山寺までを逆巡拝するお遍路さんが増えている。

愛媛県松山市の恵原に、衛門三郎という庄屋が居りました。この衛門三郎は大変、欲深く、土地の人から年貢を厳しく取り立て、病気で年貢を納める事が出来なければ、寝ている病人の布団まで持っていく始末、百姓は泣かされていました。丁度、四国を巡っておられていたお大師さまは、この話しを聞き衛門三郎を諫め諭さんと、衛門三郎宅の門に立ち托鉢されました。衛門三郎は怒り「この、クソ坊主め」と罵り、お大師さまの鉄鉢をたたき落としました。



焼山寺麓、杖杉庵

次々と亡くなりました。衛門三郎は自分の非と罪の深さを知り、お大師さまに心からお詫びしたいと四国を追い求め、二十回巡りましたが逢う事が出来ませんでした。そこで、逆に八十八番・大窪寺より巡拝するも、精も根も尽き果て、第十二番・焼山寺の麓で行き倒れてしまいました。すると、お大師さまが現れ衛門三郎の罪を赦し「衛門三郎再来」と書いた小石を握らせる

合掌

次の日から、衛門三郎の八人の子供が

南無大師遍照金剛

延本大震災に被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早く復興をお祈り致します。

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く



歩くお遍路 満足行巡拝

第十二回、パート(3)

平成二十八年二月十七日より
平成二十八年二月二十一日

今回の満足行は修行の道場、土佐の後半から菩提の道場、伊予の初め迄である。

土佐霊場の後半は札所間が遠い、寒波と雨に見舞われ修行の道場そのものであった。

第三十六番・青龍寺の上、国民宿舎・土佐に集合、今回の参加者は十七名である

海あり山あり、土佐のへんろ道(二月十一日)

朝食前に国民宿舎・土佐の裏にある第三十六番・青龍寺奥ノ院、不動堂を参拝。小さな祠



第36番・奥の院、不動堂

であるが、掃除が行き届き篤く信仰されているのがわかる。

宇佐大橋の近く、埋め立地から浦ノ内湾を巡航船に乗る。お大師さまも認められた海の遍路道である。この船は須崎市営、途中、四ヶ所寄り道をし、湾沿いから通学する子供達を乗せる。



横浪巡航船

横浪より山越えをして、番外・仏坂岩不動を参拝する。昔、このコースが遍路道で多数の参拝者で賑わっていた頃が懐かしい。別格霊場、第五番・大善寺は須崎市内の外れ小高い山の上、安和より焼坂遍路道を登り

土佐の一本釣りで有名な、中土佐町久礼駅まで歩く。

今年もマリリン・モンローに逢えた(二月十二日)

朝から冷たい雨、久礼、大坂の急登に喘ぎ七子峠、高速道路が出来て寂れてしまっている。四万十町から片坂を下り黒潮町(旧佐賀町)、土佐くろしお鉄道、荷稲駅の先まで歩き四十町(旧窪川町)に引き返し、第三十七番・岩本寺を参拝し宿泊する。マリリン・モンローなどが描かれた、本堂の絵天井が楽しい。

明治のロマン、熊井トンネル(二月十四日)

伊予喜駅から旧道を歩き、明治時代に造られた煉瓦造りの熊井トンネルを歩く。黒潮町佐賀より雄大な太平洋、昨日の天候で大荒れ井ノ岬から旧大万町、入野松原から双海まで歩く。



熊井トンネル

四万十川の河口を渡る(二月十五日)

朝から風が強く冷え込んでくる。四万十川の河口、下田より対岸の初崎まで救命胴衣を着け、渡し舟に乗る。伊豆田トンネルを抜け下ノ加江から久百々、大岐の浜まで歩く、雪が舞い風の冷たい一日であった。

渚の遍路道、大岐浜(二月十六日)

白砂青松、一・四kmの大岐の浜を歩く。渚の遍路道である。砂浜に自分の願い事を書き波が流してくれる流水灌頂の儀式が出来る浜である。以布利、窪津と歩き、第三十八番・金剛福寺、足摺岬の突端に位置する金剛福寺は、お坊さんが見果てぬ観音浄土に旅立った補陀楽渡海の寺である。



大岐の浜を行く

山門には嵯峨天皇が書かれたと言う「補陀楽東門」の額が架かる。岬を西廻りに松尾、中浜と歩く。中浜ではジョン万次郎の生家を見物する。



ジョン万次郎の生家

南国土佐に雪が舞う(二月十七日)

今回の満足行の後半、疲れ、足の故障、体調不良者が出てくる。土佐清水市から再び、久百々、下ノ加江と歩き市野瀬の真念庵を参拝、江戸時代、遍路の案内本、道しるべ石を建て、今の遍路ブームの中興の祖、真念上人が晩年に暮らした庵である。山また山また山の三原村に入り上長谷まで歩く。



真念へんろ道・しるべ石

真念さんの歩かれた、地蔵峠(二月十八日)

非常に冷たい朝、今に残る真念さんの道しるべ石に導かれ、地蔵峠を越え西の谷大師堂から宿毛市寺山、第三十九番・延光寺を参拝し宿毛市内のホテルに入る。

歴史の街道、松尾峠(二月十九日)

宿毛市内のホテルよりライト片手に貝塚より山登り、大深浦より松尾峠に登る。この峠は伊予から土佐への重要な街道であった。愛南町一本松から満倉、御荘、菩提の道場、伊予の最初の札所、第四十番・観自在寺に昼過ぎに着く。愛南町内海まで頑張つて歩く。

柏坂より絶景、宇和の海を望めず(二月二十日)

朝から雨、内海から標高四百六十mの柏坂へんろ道を登る。途中、野口雨情の句碑に癒される。宇和島市、旧津島町に下り市内、祝森まで歩き、津島に帰る獅子文六ゆかりの大畑旅館に宿泊する。



獅子文六ゆかりの大畑旅館

修行の道場より、菩提の道場へ(二月二十一日)

最終日、宇和島駅の近く、小高い山の上にある別格霊場、第六番・龍光院を参拝。昼過ぎ第四十一番・龍光寺を参拝し、第四十二番・仏木寺と参拝する。今回はここで打ち止めとする。



四国別格第6番・龍光院

同行者 十八名(一部参加者を含む) 合掌
修行日数 十日間
歩行距離 二七六・一km

南海大師遍路金剛

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く

歩くお遍路 第十二回、パート(4)

満足行巡拝

平成二十八年六月十七日より
平成二十八年六月二十六日



満足行はいつも同じ時季、場所から始まり終わる巡拝を繰り返している。

その時の自分の体調、精神状態を含め森羅万象が常に変化しているから、毎回、新鮮な気持ちで巡拝できる。それが継続できる秘密である。

歯長峠へんろ道は崩落(六月十七日)

第四十二番・仏木寺より歩き始める、歯長峠のへんろ道は通行不能、歯長トンネルを抜けると西予市宇和、第四十三番・明石寺、深い木立に囲まれた境内は深遠な雰囲気、明石寺より山越えをして古い屋並の卯之町、信里から鳥坂峠のへんろ道を登り大洲市に入る。



第43番・明石寺で参加者

開創千三百年の出石寺(六月十八日)

別格霊場、第七番・出石寺には大洲市平野、沼田より登る。夏草が繁り足元が悪い。標高八〇〇mの山上に大伽藍が広がる。



十夜ヶ橋のお大師さん

橋下、お大師さまと再会(六月十九日)

朝から雷と大雨、肱川沿いに歩き別格霊場第八番・十夜ヶ橋大師堂を参拝する。

内子町から国道三七九号線に入り、ノール文学賞受賞の大江健三郎さんの生家が有る大瀬を過ぎ、突合せの近くまで歩く。

大雨警報が発令される(六月二十日)

突合せより鵺田峠遍路道を歩く。本成、宮成と歩き標高七九〇mの鵺田峠を越えると、久万高原町、杉の大木に囲まれた豪荘な山門の第四十四番・大寶寺を参拝する。

岩屋寺は山全体が境内(六月二十一日)



第44番・大寶寺山門

今日も大雨警報、大寶寺より山越え、第四十五番・岩屋寺への登り八丁坂の遍路道は川となつている。

岩屋寺は不動明王の行場の寺、岩山を背景に南面的風景が広がる。打ち戻りは畑野川より高野に登り西明神に出る。

二・六kmの三坂峠を下ると第四十六番・浄瑠璃寺、鬱蒼と繁った木立の中に本堂、大師堂、幽玄な靈気が漂う。第四十七番・八坂寺、四国遍路の開祖、衛門三郎縁の別格霊場、第九番・文殊院、また、衛門三郎が最初に札を



第45番・岩屋寺本堂

修験道と衛門三郎の寺(六月二十二日)

汗がほとばしる横峰寺(六月二十六日)

最終日、別格霊場、第十番・興隆寺、第十一番・生木地蔵の参拝を次回にする。今回のハイライト、第六十番・横峰寺の参拝、湯浪より二kmの登りに汗をかく。その日、横峰寺は住職の交替式、晋山式のおめでたい日であった。第六十一番・香園寺の奥ノ院に下

納めた札始大師堂は近い、重信川を渡り第四十八番・西林寺を参拝し、

第四十九番・浄土寺まで参拝する。



第49番・浄土寺本堂

石手寺はミステリアス(六月二十三日)

第五十一番・石手寺の境内には「戦争法反対」「不利生」の看板、他の寺とは違った趣、本堂の裏山には地下通路が繋がっている。

第五十二番・太山寺は山全体が境内、端正な国宝の本堂が目映い。第五十三番・円明寺を参拝する。

心なごむ、瀬戸内海の風景(六月二十四日)

国道一七九号線を瀬戸内海沿いに歩き、今治市、第五十四番・延命寺を参拝する。



第54番・延命寺本堂

料理と温泉で癒す(六月二十五日)

二十四日は第五十八番・仙遊寺の宿坊に宿泊する。昨日の延命寺より歩き、第五十五番・南光坊、第五十六番・泰山寺、第五十七番・栄福寺、第五十八番・仙遊寺、第五十九番・国分寺を打つ。



第58番・仙遊寺の精進料理

汗がほとばしる横峰寺(六月二十六日)

最終日、別格霊場、第十番・興隆寺、第十一番・生木地蔵の参拝を次回にする。今回のハイライト、第六十番・横峰寺の参拝、湯浪より二kmの登りに汗をかく。その日、横峰寺は住職の交替式、晋山式のおめでたい日であった。第六十一番・香園寺の奥ノ院に下

り、香園寺を参拝し今回の満足行を終える。

十日間中、七日の雨であったが、また新たな元気をいただいた巡拝であった。



第60番・横峰寺本堂

同行者 十七名 (二部参加者を含む)

修行日数 十日間

歩行距離 二四八・八km

南無大師遍照金剛

私の満足行



神奈川県平塚市

天城和美

十日間に及ぶ満足行では、時に厳しい状況に遭遇します。

明けきらぬ暗い山道を、懐中電灯を頼りに歩いたり、濁流が溢れた道なき道を歩いたり、生い茂る草木を掻き分けながら歩いたりもします。長い道のりの行を終えた後、何気ない言葉に心が動かされます。

「また来て下さいね!」と言う地元の人々の暖かな言葉に。

「寒暖差の大きい日々ですが、お身体大切に!」と言う機内アナウンスに。

やさしい言葉に心の底から満足感が湧きあがり、涙を誘うのです。

ピュアな気持ちになれる、これが私の「満足行」です。

合掌

ブログ「鯖大師本坊 歩き遍路・沙門明善」
*満足行修行の道中日記や写真をブログで更新しています。ご覧下さい。

百八煩惱消滅の道
歩くお遍路
満足行代参巡拝



百八ヶ寺、百八回のご祈願
あなたに代わり、歩いて巡拝

平成二十八年十一月十六日(水)～
平成二十八年十一月二十六日(土)
十一日間

第十三回、満足行パート5は、第六十二番・宝寿寺より第八十三番・一宮寺、(別)十番・興隆寺、(別)十九番・香西寺まで歩いて巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方
歩いてお参りしたくても出来ない方

あなたに代わり歩き、お願い事を百八ヶ寺の御宝前にてお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)
二千円以上

※代参ご祈願ご希望の方は十一月十日までにお申し出下さい。代参巡拝後ご祈願札をお授け致します。

第62番・宝寿寺～第83番・一宮寺まで

第13回

満足行

歩くお遍路
パート5

菩提の道場・伊予霊場と涅槃の道場・讃岐霊場を歩き、お大師さまの同行二人のご誓願を身を以て修行する。

参加料

10,000円

傷害保険料、渉外費に充当

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担

日時 平成28年11月16日(水)～
平成28年11月26日(土) 11日間

集合 平成28年11月15日(金) 午後5時
西条市、しこくや

巡路 第62番・宝寿寺～第83番・一宮寺
(別)10番・興隆寺～(別)19番・香西寺
(歩行距離 256.9km)



※参加申し込み〆切日 平成28年10月19日 参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゅうにち)とし前後の三日を合わせた七日間をいいます。

この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

彼岸の入りから明けまで七日間
一霊・三千円

- 【布施】 他人へ施しすること
- 【忍辱】 不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禅定】 心を安定させること
- 【持戒】 戒を守り、反省すること
- 【精進】 精進努力すること
- 【智慧】 真実をみる智慧を働かせる



本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。

無明を照らす、光明

ご先祖さまと現世と結ぶ架け橋

献灯供養

平成二十九年 度

壹ヶ年間「月命日」献灯(壹万円)

仏教では苦しみの根源、迷いや煩惱を「無明・むみょう」と言います。炎は不浄を燃やし魔を除き浄化して清める働きをします。光明は人が煩惱の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。



護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm 重さ8kg



永代ご祈願大不動明王



お不動様のお力に
おすがりして
あまねく悪を退け
本当の幸福という名の
功德をつかんで
頂きたいのです

大不動明王
護摩堂奉安祈願

大不動明王
願主ご芳名

- 宮城県 伊藤喜壽雄
- 兵庫県 内海 妙心
- 長崎県 宮下 友一
- 宮下 和子
- 香港 馬騰峯合家
- 香港 林 端儀

納料奉主願主
也圓拾参 願主奉納料
金 参拾萬圓也

平成二十七年十二月一日より平成二十八年六月三十日までにお花代、お供えとして奉納された方です。ここに厚くお礼を申し上げます。
この期間以外の方はここに掲載されておりません。
(敬称略)

千体地藏尊
願主ご芳名

- 愛知県 葛山 武男
- 愛知県 葛山 定枝
- 愛知県 葛山 美千代
- 愛知県 石原 貴代
- 三重県 渡辺アサ子
- 福岡県 小田 利夫
- 二体

十一月二日鯖大師御法礼大祭
大柴燈護摩壇木奉納のお願い



壇木奉納
一本(二願) 壹万円

あなたのお願いを、檀木に浄写して大柴燈護摩修行にて、ご祈念お焚き上げ致します。

※数に限りがありますので、三十本お集まり次第、メ切らせて頂きます。ご了承の程。

※お電話にて承ります。お申し出下さい。

不動明王・地藏尊
ご浄財ご芳名(二万円以上)

- 香川県 浮田トシ子 佐賀県 桑原 高士
- 福岡県 小田 利夫

八十八ヶ所
お砂ふみ
蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場へ宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされており、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊い、おかげの心を供養するお気持ちで蓮華台奉納のお申し出をお願い致します。奉納供養は一口壹万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。 合掌

一口一壹万円
※一人何口でもお受けいたします。



蓮華台奉納願主ご芳名

- 第六十一番 宝寿寺
大阪府 谷 良子 東京都 塩 澤 弘一
- 愛媛県 森 満 廣 徳島県 塩 澤 美智子
- 福岡県 藤 野 幸子 福岡県 石 松 ツギノ
- 宮城県 富 澤 英子 石 松 政 信
- 福島県 塩 澤 雅 規 平成二十七年十二月一日より平成二十八年六月三十日まで奉納祈願された方です。
(敬称略)

千葉県 秋谷光枝
 東京都 塩澤眞陸
 福井県 岡山善子
 岐阜県 藤江千鶴子
 愛知県 長谷川誠次

岡山県 玉木クニエ
 広島県 大石政典
 福岡県 大石知子
 中島 梨菜
 荒木 伸彦
 香港 陳萬底

白衣観音奉納願主ご芳名

香港 李黄妹 国光
 黄志強 李慶順
 馬何玉 誠聰
 梁何娥 鄭麗
 洪鄭琴 洪慧妍
 林嘉榮
 平成二十七年十一月一日
 より平成二十八年六月三
 十日までに奉納祈願され
 た方です。(敬称略)

三十三観音霊場永代奉安

白衣観世音菩薩

一願一体 貳万円

私たちに苦しみから
 救い導く仏
 観音さまに願いを

為山田家先祖代々菩提

願主 徳島県 山田 太郎



般若心経 折り紙

願掛け千羽鶴

千枚・千八百円

ご病気の方の快復を願ひ、子宝、出産、試験等の諸願成就のため、亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、様々な願ひを鶴に込めて、願ひを成就下さい。



鯖大師・多宝塔

壹萬羽鶴

一羽 千円

鯖大師では皆様の願ひ、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に、願ひを込めて折って戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を發願致しました。

皆様のお願ひ事を般若心経・多宝塔の観音様にお伝えし、飛天さんに天空界へと届けて戴きます。

「お願ひ事、お名前を書き、一折、一折に想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」

奉納数 一、七七九羽

平成25年11月3日より平成28年6月30日までの累計です。



お盆供養のご案内 八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源はご先祖さまです。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。

命の源、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。



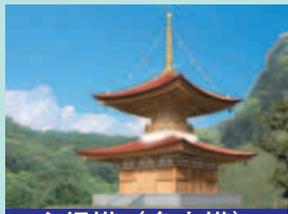

般若心経塔ご浄財
ご芳名 (一万元以上)

- | | | | |
|---------|---------|---------------------------------------|---------|
| 北海道 | 笠 瀬 枝美子 | 兵庫県 | 松 浦 幸子 |
| 千葉県 | 林 和子 | 岡山県 | 市 村 明子 |
| 東京都 | 大 松 慈 永 | 井 上 信子 | |
| (代表) | 飯 島 睦 子 | 愛媛県 | 網 崎 俊 彦 |
| 富山県 | 原 節 子 | 香港 | (代表) |
| 愛知県 | 伊 藤 富 子 | アラン・ライ | |
| 大阪府 | (代表) | 平成二十七年十二月一日より平成二十八年六月三十日まで奉納祈願された方です。 | |
| 野 村 妙 観 | | (敬称略) | |

般若心経 多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々の
お写経を多宝塔に奉納致します。
皆様のお写経奉納をお願いします。
お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出
だいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。
奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下
さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙
(三十枚つづり)
一冊 千円
荷具送料 三百円

お写経奉納料
一卷(一枚)千円

奉納お写経 一〇七、九八八巻

右記の巻数は、平成二十七年十二月一日より
平成二十八年六月三十日までの
累計です。

「壹千文字」ご奉納
願主ご芳名

ご奉納文字数 現在
五百七文字目



- | | | | |
|---------|---------|---------------------------------------|---------|
| 宮城県 | 伊 藤 喜壽雄 | 広島県 | 高 田 郁 子 |
| 伊 藤 とよ子 | | | |
| 伊 藤 直穂子 | | 兵庫県 | 兵 庫 昭 夫 |
| 千葉県 | 村 上 誠 司 | 平成二十七年十二月一日より平成二十八年六月三十日まで奉納祈願された方です。 | |
| 村 上 潤 子 | | (敬称略) | |
| 広島県 | 高 田 尚 | | |

壹千文字ご奉納

二六六文字ご奉納

兵庫県

玉村 昭夫



般若心経掛け軸・永代奉安

一霊 参拾万円

般若心経、観音さまを浄写して、戒名をお書きします。掛け軸に表装して年二回の
飛天ご開帳法要にて御供養申し上げ、多宝塔内に永代に奉安致します。
※ご希望の方は、お申し出下さい





火渡り修行



大般若経法要



奉祝大もち投げ



大柴燈護摩修行

ご法礼大祭

十一月三日(木)
文化の日

行事

水琴千体地藏尊御供養
(駐車場) 午前九時

家内安全大般若経法要
(本堂) 午前十時

厄除開運大柴燈護摩
(駐車場) 午後一時

七難即滅火渡り修行
(駐車場) 午後二時

奉祝大もち投げ
(駐車場) 午後三時

※うどんお接待

本年もご法礼大祭を盛大にご修行します。ご参加ご拝顔を楽しみにしております。

飛天曼荼羅

結縁法要

十一月二日(水)
「大祭、前夜祭」
午後七時より

飛天の研究、第一人者であり画家・吉永邦治師が心魂を注ぎ三年の月日をかけ完成させた、飛天のご開帳結縁法要を執り行います。法要後には塔内に入り、飛天さまと結縁を結んで戴きます。どうか、この機会に飛天曼荼羅空間をご体感下さい。

※宿泊予約は十月二十日までに申し出下さい。



大切な人をお迎えする

— お盆・お彼岸 —

特別な日に

特別な香りを

良いお香を焚き、亡くなられた方にお供えするのは、お盆やお彼岸で帰られたご先祖さまへの最高のおもてなしです。

特別な日には、故人を敬い良質なお香を焚き大切な方をお出迎え下さい。



合掌

蓮華の香り

福の花

- 進物 三、五〇〇円
- 徳用 一、七〇〇円
- 小箱 八五〇円



のし、宛て名お書きします。

※初盆のお供え・お返し、満中陰の返礼、法事の粗供養、お中元等で、多数ご利用の方は宛て名書きした、のしを同封致します。ご希望の方はご注文の際にお申し出下さい。